令和６年度　南相馬市立原町第二中学校　学校経営ビジョン

＜我が校の特色＞

- □　素直で学びに対して頑張ろうとする
- □　iPad を活用する場面も多く、能力も高い
- □　協働することに意欲的（班活動、学校行事）
- □　SDGｓへの意識が高く奉仕的活動に積極的
- □　公共施設やロボテスなど教育資源が豊富

子どもの笑顔、誠実でひたむきに努力する姿が人の心を動かす

【学校教育目標】

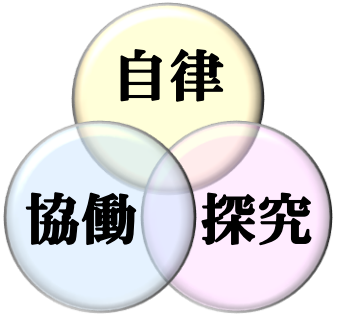
［自律］　自ら考え、判断し、行動する
［探究］　真理を求めて深く学び続ける
［協働］　目的意識を持ち多様な人々と協力する

＜めざす学校像＞

安心できる居場所となる学校

- □　子ども一人一人が尊重され、認め合い、活躍できる学校

信頼と期待に応える



＜学校経営方針＞

全職員の和と理解のもと、子ども一人一人に寄り添いながら教育目標の具現に努める

- □　子どもが主語の魅力ある学びを展開
- □　「主体的・対話的で深い学び」「探究学習」でグローバルな人材に必要な資質や力を育成
- □　自信や志を育む特別活動を推進

【令和６年度　重点目標】

互いに高め合い、自分をリードする生徒

＜めざす教師像＞

- □　**相双の未来の教育を実現する情熱と使命感**
  - ・最後まで子どもに寄り添い、夢や希望を子ども達や同僚に語ることができる
- □　**主体的・対話的で深い学びを実現する指導力**
  - ・子ども主体の学びを追求し、展開する
  - ・子どもの笑顔や充実感を引き出す
- □　**豊かな人間性と同僚性**
  - ・相手の立場や気持ちを理解し、協働できる

誰かと対話したり理解し合ったりして、「何をすべきか、何をしたいか自分自身に問うて行動する力（主体性）」を高める

【確かな学力を育む教育活動】

◆子どもが主役の授業づくり
- ○なぜ？おや？もっと！で主体的な学びへ
- ○共感的・協働的な対話を生み出す学び合い
- ○まとめや振り返りの充実
- ○学習ツール等として ICT を積極的に活用

◆地域の未来を考える「総合学習」
- ○子どもたちが考える町づくりの提案
- ○南相馬×もの(1 年)、ひと(2 年)、くらし(3 年)

◆家庭学習の習慣化
- ○事例を示し、個別最適な家庭学習を支援

※「授業内容がわかる」８５％以上、「探究で新たな課題」８５％以上

【豊かな人間性・社会性を育む教育活動】

◆主体的に取り組む協働的な活動で絆づくり
- ○学年や学級で取り組む親和的な集団づくり
- ○生徒会活動を中心とした SDG s への取組
- ○学びと感動を生み出す学校行事

◆「考え議論する道徳」への転換
- ○子どもの問いを大切にした対話
- ○対立・葛藤・板挟みによる価値の深化

◆心と体をベストに保つ「生活習慣・生活態度」
- ○6 時半起床、2 時間自学、11 時就寝の推進
- ○㋐かるく、㋑つでも、㋒きに、㋓づける

※「進んで発言」５５％以上、「いろいろな考えを持てた」９０％以上

【安心・安全と信頼される学校づくり】

◆チーム学校で取り組む安心・安心
- ○教育相談やｻﾎﾟｰﾄﾙｰﾑ等による生徒支援
- ○南相馬ならではの防災教育や放射線教育

◆教職員の資質向上
- ○教科部会と互見授業による同僚性の強化
- ○指導法や ICT 活用など積極的な自己研鑽

◆信頼される学校づくり
- ○地域や家庭、関係団体との協力関係の構築
- ○保護者会や各種便り等での説明責任
- ○風通しの良い職場づくりで不祥事根絶

※「学校生活に満足」「信頼できる先生がいる」８５％以上